



# ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 3

H.23. 3月発行

おもちゃひろば

ロリポップ

今年度も、おもちゃひろばロリポップをご利用いただきありがとうございました。

今回は「人気のおもちゃをどのように活用しているの？」特集号です。会員の皆様から原稿をお寄せいただき、また取材をさせていただき、中身の濃い「つうしんNO.3」となりました。B4 サイズから、A3サイズ拡大版！でお届けします。



## さかなつり 他にもたくさん 利用しています

藤沢市立白浜養護学校



私たち白浜養護学校では、各学年で話し合い、それぞれの子どもたちに合った布のおもちゃをレンタルしています。個別に学習する時間に使ったり、集団での学習に使ったり、余暇として使ったりしています。中でも人気なおもちゃは「さかなつり」です。主に集団での学習で使っています。

「さかなつり遊び」は子どもたちにとって、とても分かりやすい動きを伴う遊びです。いろいろなタイプの子供たちが一緒に学習しますが、さおの種類が3種類あり、難易度を変えることができます。また、魚のどこに触れても釣れるというところがとても魅力的です。釣った魚をかごにいれたり、海のタペストリーにくっつけたりしてそれぞれ「自分が釣った魚だ」と達成感を味わうことができます。

一人ひとり順番でつったり、何人かで一緒につったりするとまたその緊張感が違うようで、子どもたちの表情が変わり、支援をしている私たちもドキドキワクワクします。

他にも「かたはめパズル」や「わつなぎ」など、個別の課題学習の教材として有効なものをいろいろとレンタルしています。また、休憩時には「うま」にまたがり遊んでいる子どもたちもいます。私のクラスでは毎月のように行うお誕生日会で、「たんじょうびタペストリー」にみんなで飾り付けをし、主役はその前で写真を撮ります。同じものを使っているのに、毎回違った雰囲気のカークキに仕上がるのがおもしろいです。「おみせやさん」や「山の手線一周ゲーム」「カラーダーツ」もとても人気があります。

安全で、優しい手触りの布のおもちゃは、白浜養護学校のようにいろいろなタイプの子供たちが一緒に活動する場ではとても重宝します。今後も様々な場面で利用したいと思います。そのたびに子どもたちのとびっきりの笑顔に出会えるのかと思うと楽しみです。

藤沢市立白浜養護学校  
教員 井上 愛

## 表情さいころ

太陽の家 デイサービスセンターどんぐり



まずは、数名の子ども達で集まり、さいころの面（表情）を見せて、みんなで真似をします。「これはどんな顔？」と質問すると、「怒っている」「困っている」などの回答がありました。実際に行ってみると、顔だけで表現するのは難しかったようです。そこで、「困ったな～」と言葉を添えて腕組みをしたり、「え～んえ～ん」と顔を押しさえてなき真似をしてみたりと、身振り手振りと言葉をつけて大人が表現方法を提示しました。なかには、自分なりの方法で表現する方もいました。

さいころを転がして、出た目が見やすいように大人がみんなに提示し、「どんな顔？」と質問し、返答がきたら「せーの！」と一緒にその表情を作ることで遊びを進めました。

お互いの顔を見合って笑う様子も多くあります。そこからにらめっこを連想し、子どもたちのアイデアから「さいころさいころあつぷつぷ～」のかけ声が生まれました。お互いに表現を見せ合うなど遊びを通してコミュニケーションを図ることができました。

太陽の家デイサービスセンターどんぐり  
保育士 森岡 女久美

# いろいろ棒

湘南北部療育センター

湘南北部療育センターにいらしている臨床心理士の浅田敦子先生がよく利用してくださっています。そこでどのように利用されているのかお聞きしたところ、お忙しい時間の合間をぬって実際に使っている様子を紹介してくださいました。こんな風に並べて～それから～こうして～あーして～・・・写真もメモ書きも間に合わないほど、次々と実演！に嬉しいやらびっくりするやら・・・でした。その中のいくつかを紹介します。

- ① ケンケンパツ タンバリンや手拍子に合わせて両足 or 片足で輪を跳ぶ
- ② くぐる 2～4個 平均台の上に乗せてもいいです
- ③ くぐる 下から上へ 体に当たらないように シャガむ動作も身に付きます
- ④ くぐる 上から下へ バンザイをして持つところから足元へ
- ⑤ 2本つなげて大きい輪小さい輪に集まれ 何人かでやると人との距離感も学べます
- ⑥ 自分を中心として前後・左右へ 空間の理解につながります



②

主に個別指導時に使われています。幼児さんから学童さんまで年齢もタイプもさまざま。同じくぐるでもバンザイが苦手な子には、輪を頭近くまで先生が持ち上げたところをつかませるなどしているそうです。いろいろ棒の色や形、素材がつかもとうとする気持ちにさせるおもちゃであるからこそできること。嬉しいです。



③ ④



⑥

最後に「からだを使ってのびのびと！自分のからだを知ること」が発達の上で大事なこととお話してくださいました。先日センターで行われた講演で、ことばの発達の度合いは、からだが育っていること、心が安定していること、そして環境の3つが大事で、頭で理解するよりもからだで感じて理解するほうが先とのお話もありました。また色は前頭葉を刺激するとか。この「いろいろ棒」は色合いも優しく大きさも触り心地もとってもいいと絶賛でした。今は赤・黄・青の3色ですが「緑」をぜひ作ってほしいと熱い要望をいただいています。

取材 ロリポップスタッフ 小林



## どんぐり展示会見学記



2010年8月18日～28日にタチカワブラインド銀座ショールームで開催された TOY 工房どんぐりの「見て 触れて 遊べる 手作り布おもちゃ展」にロリポップメンバーと一緒に出かけました。そこにはこどもの外出への支援を願う親の想いから生まれた「信号」をはじめとして、ロリポップ会員の皆様からの要望・提案がもとで生まれた「カラーダーツ」「いろいろ棒」「うま」や「表情さいころ」が会場にカラフルにレイアウトされていて目を楽しませてくれました。展示方法も工夫が随所で見られ、来年度のロリポップの展示会の参考になるものが沢山ありました。

布絵本を使ったお話が聞ける「歌と絵本の時間」があったり、こどもたちにおもちゃに触って体験するコーナーがあったり、と滞在した時間がとても短く感じられました。会員の白浜養護学校の先生もショールームを訪れ、ワークショップに参加して作られたという「さかなつり」のさかなを後日見せて頂きました。

ランチボックスなど初めて目にするおもちゃなどもあってロリポップでも新しく購入したいね、とメンバーとも話が出て収穫の多い一日でした。その後の慌ただしいながらも銀ブラも楽しかったし。どんぐりのスタッフの皆さま、ありがとうございました。(西村)



この夏にも どんぐり展示会を開催します  
8月16日～20日  
タチカワブラインド銀座ショールームにて  
ぜひ足をお運びください(´\_`)/



ロリポップスタッフです  
皆さん！1年間ご協力いただきありがとうございました

### 編集後記

特集号いがかでしたか？  
子どもの発達が遅れているかも？と思う時、言葉が出てほしい・・・親ならさっと誰しも願うことでしょう。私自身もそうでした。だからといって、いっぱい話しかけるより何より「楽しいと体で心で感じてくれること」が大事なんだなあ～。今ならそれがよくわかる・・・実感です。ロリポップのおもちゃで、先生、支援者、友だち、お母さんと体を使って遊んでくれている様子を垣間見、私たちも笑顔(\*´\_`\*)になりました。これからもどうぞよろしく願います。(小林)